

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2
【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
49	耶麻農業高等学校	全日制

I期選抜

大学科 小学科	募 集 定員枠	志願してほしい生徒	選 抜 資 料				備 考
			志願理由書	調 査 書	面 接	そ の 他	
農業科 産業技術科	35% 程度	<p>本学科では、勤労を尊ぶ態度を養うとともに、地域社会の発展に貢献できる人材の育成を目指し、農業の実践的な学習を通して教育を行っており、次のような生徒を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業に興味関心を持ち、将来、農業の担い手を目指す者。 ② 食糧問題や環境問題に興味関心があり、農業を理解しようとする者。 ③ 基本的な生活習慣を身に付け、率先して集団生活の規律を守り、学習活動、文化的活動、更に生徒会や部活動等のリーダーとして積極的に取り組もうとする者。 	<p>本校への志望動機及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと等について本人が記入する。</p>	<p>「各教科の学習の記録」は135点満点、「特別活動等の記録」は、55点満点として、合計190点満点とする。</p>	<p>個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、数学、英語)を含む。 面接については、段階評価する。 第1会場、第2会場の順に、受験生1人に対し2回の面接を行う。</p>	<p>作文を実施する。 本校が指定するテーマに基づいて400字以内で自分の意見をまとめる作文とする。 作文については、段階評価する。</p>	

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
49	耶麻農業高等学校	全日制

家庭科 ライフコーディネイト科	35% 程度	<p>本学科では、豊かな家庭生活や社会生活を創造し、地域社会の発展に貢献できる心豊かな人間の育成を目指し、福祉施設・保育所での実習やボランティア活動を取り入れた実践的な教育を行っており、次のような生徒を求めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 家庭生活を営むために必要な衣食住や福祉について積極的に学習しようとする者。 ② 家庭生活を取り巻く問題に关心があり、自ら問題を解決しようとする者。 ③ 基本的な生活習慣を身に付け、率先して集団生活の規律を守り、学習活動、文化的活動、更に生徒会や部活動等のリーダーとして積極的に取り組もうとする者。 	<p>本校への志望動機及び将来への抱負、高校生活で特に学びたいこと等について本人が記入する。</p>	<p>「各教科の学習の記録」は135点満点、「特別活動等の記録」は、55点満点として、合計190点満点とする。</p>	<p>個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容(国語、数学、英語)を含む。 面接については、段階評価する。</p>	<p>作文を実施する。 本校が指定するテーマに基づいて400字以内で自分の意見をまとめる作文とする。 作文については、段階評価する。</p>	
--------------------	-----------	--	--	---	---	--	--

平成30年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学 校 名	課 程
49	耶麻農業高等学校	全日制

II 期選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 檢 查	調 査 書	面 接		
農業科	(40)	5教科とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計250点満点とする。	個人面接を実施する。 面接については、段階評価する。	同等とする。	
産業技術科	(40)			第1会場、第2会場の順に、受験生1人に対し2回の面接を行う。		
家庭科 ライフコーディネイト科	(40)					

III 期選抜

大学科 小学科	選 抌 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
農業科	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」は55点満点として、合計190点満点とする。	個人面接を実施する。 面接の内容には、中学校における学習活動の成果を問う内容（国語、数学、英語）を含む。 面接については、段階評価する。	作文を実施する。 本校が指定するテーマに基づいて400字以内で自分の意見をまとめる作文とする。 作文については、段階評価する。	
産業技術科				
家庭科 ライフコーディネイト科				